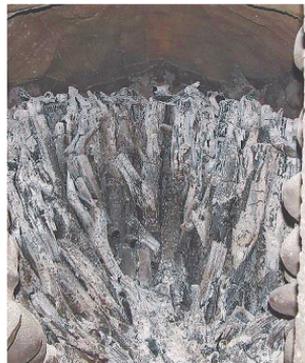




かつてはあちこちの里山で
行われた炭焼き



焼きあがった炭

炭と言ってもぴんとこない人は多いと思います。今ではバーベキューの時ぐらいいしか使わないので、普段あまり目にすることはありませんが、みんなのおじいさんやおばあさんが子どもの頃は、炊事や暖房の燃料として炭はまだ使用されていました。

昔は炊事・暖房に使用

この頃までは、炭を作るためにコナラやクヌギ、カシなどの木を切つて、あちこちの里山で炭焼きが行われていました。ところが、生活に便利な電気やガスが使われるようになると、ほとんど行われなくなり、里山の手入れもされなくなりました。ねいの里では以前の里山生活再現のため、水田耕作

などとともに、13年前から「吉住窯」と名付けた炭焼き窯を作り、炭焼きを行っています。ことしももうすぐ行いますので、興味のある人は問い合わせてください。(松崎勇)